

## 農場への進入車両の防疫対応

国内で口蹄疫が発生している状況において、飼料会社をはじめ、農場に出入りするあらゆる業者に、防疫の趣旨と目的を説明し、協力を求めてください。必要な消耗品等はなるべく農場で準備しておくようにするほか、下記の対応が、運転手の負担をなるべく少なくして確実に実施されることが重要です。基本は“消毒する”ことではなく、“外部から病原体の付着した物品を持ち込ませない”ことです。盲点になりがちなのは、車両そのものよりも運転手の履物や衣類です。以下の項目を参考に、農場のバイオセキュリティを改善し、口蹄疫はじめ疾病の侵入を許さない農場づくりを目指してください。

### ●農場内進入車両(バルク車、ガス配送車など)の移動経路と防疫対策の確認

### ●汚染エリア(農場)と清浄エリア(農場)間の行き来は禁止する

### ●農場内進入車両の制限

### ●農場入り口の外での足回りの徹底消毒

- ・ビルコンS、グルタルアルデヒド系消毒薬、塩素系消毒液の適正倍率希釈液での農場入り口の外での消毒
- ・車両のタイヤは、すべての外周が消毒できるよう、徹底的に実施してください
- ・退出時にも消毒を実施してください

### ●農場内進入車両の運転手の農場入り口での農場が用意した専用衣服、手袋、靴へ交換。車から農場敷地内に降りるときは、さらに、別の専用長靴に履き替える。また、作業中にはマスクを着用する

## 運転手が運転席で履いていた履物で農場敷地内に下り立たないことが重要

### ■最低限これだけは

使い捨てのオーバーブーツ（ビニルブーツ）を関連業者に用意し、運転席から足をドアの外に垂らした状態で履物の上から着用して、降りてもらおう（オーバーブーツを履いた足で運転席のマットを踏まないよう注意してもらおう）。退場時には、乗車時と同様、運転席に腰掛け、足は外に出した状態でオーバーブーツを外してもらおう。使い終わったオーバーブーツは汚物としてポリ袋等に入れて持ち帰ってもらうか、農場で確実に処分する

### ●車両が事務所・営業所・工場に戻ったときの対応

#### ①運転席のマットの消毒

- ・1車両当たり最低3セット用意してもらい、車両のプレートナンバーをふって管理
- ・運転席のマットは、車両が中継基地や営業所、工場等に戻ったら、必ず消毒済みのものと取り替えることを要請する。

#### ②キャビン周りの消毒

- ・運転席のハンドルはじめ運転手が接した面およびマットを外した床面等は、上記の消毒液を浸した清潔な布（雑巾など）で、毎回、拭き消毒を行うよう要請する。

#### ③ガスポンベの消毒

- ・持ち帰った空の使用済みポンベは確実に消毒するよう要請する

### ●宅配便への対応

- ・宅配便は地域内のあらゆる場所を移動するため極めて危険
- ・集配センターに留め置いてもらうか、中継してもらえる送付先に送ってもらい、自分で引き取りに出向くようにする
- ・荷物は送り主に二重包装を要請し、外側は廃棄。内側のみ取り出して、消毒後、農場内に持ち込む